

検査、治療、手術などの説明および同意書

患者ID:

説明日 20 年 月 日

カナ氏名:

科 説明医師

漢字氏名:

生年月日:

同席者

マイトマイシンC併用濾過胞再建術 (右 ・ ひだり)

1. 術式について

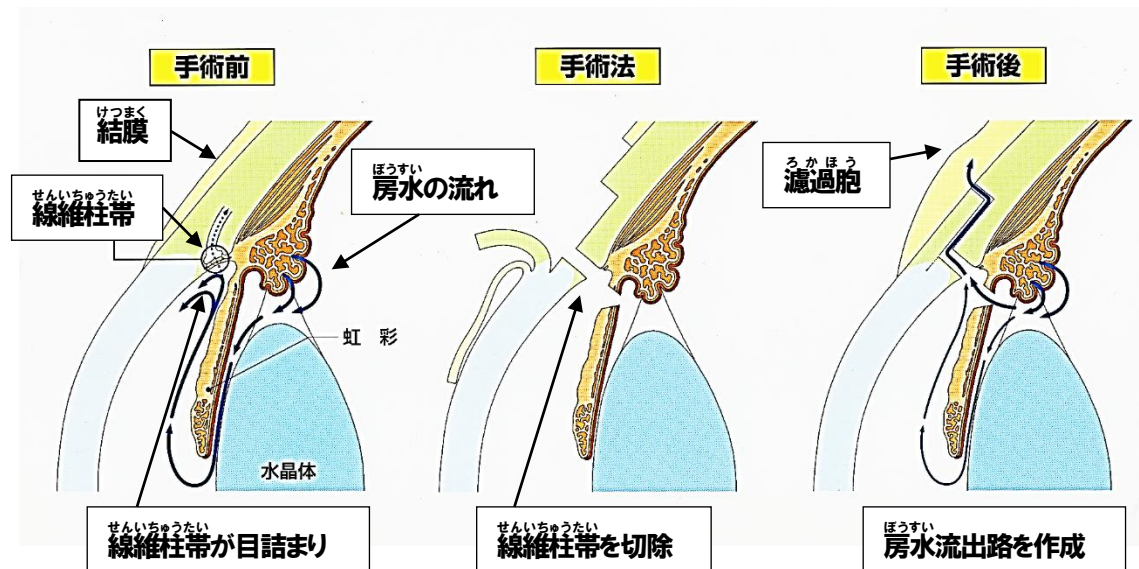
緑内障において、薬物やレーザー治療によっても十分な眼圧下降が得られない症例は手術の適応となります。緑内障に対して最も広く行われている術式は線維柱帯切除術です。

濾過手術である線維柱帯切除術は、線維柱帯を切除し小孔を作成して、前房と結膜下組織の間に新たな房水流出路である濾過胞を作成し、眼圧下降をはかる手術です。濾過胞の癒痕化による閉塞を抑える目的で、代謝拮抗薬であるマイトマイシンCを使用します。

以前マイトマイシンC併用線維柱帯切除術を受けられており、現在濾過胞が癒痕化して閉塞し、眼圧が上昇しています。

今回行う術式は、マイトマイシンC併用濾過胞再建術です。

点眼、局所麻酔下において、結膜癒着部位を観血的に剥離し、濾過胞を再建します。濾過胞の癒痕化が強い為、マイトマイシンCを使用します。0.01%に希釈したマイトマイシンCを結膜、強膜に一定時間塗布します。マイトマイシンCを使用する事で、濾過胞が再癒着しにくくなり、濾過胞再建の成功率が高くなります。



線維柱帯切除術の模式図

2. 現在の病状・病態及び病名

病名 緑内障

病状 マイトマイシンC併用線維柱帯切除術後の濾過胞の癒痕化

3. 検査・手術・治療の目的、必要性について

線維柱帯切除術後の濾過胞が癒着による閉塞で、眼圧が上昇しています。そのまま放置しておくと視野障害が進行し、将来的には失明する可能性も高まります。濾過胞再建術を施行し、眼圧を下げる事が必要です。

4. 検査・手術・治療に伴う危険性

(線維柱帯切除術を含む濾過手術全般において)

今回は濾過胞再建術になるため、すべての合併症の頻度は線維柱帯切除術に比べて低くなります。

(早期合併症)

○前房形成不全

過剰濾過によって浅前房、低眼圧になり、脈絡膜剥離が生じます。脈絡膜剥離が生じると房水産生は低下し、水晶体は前方に圧迫され、さらに前房は浅くなり、ついには消失します。長期化すると低眼圧黄斑症が出現することもあります。処置は、結膜からの濾出が原因の場合は結膜縫合を行います。結膜からの漏出がなく過剰濾過によって浅前房、低眼圧を生じている場合は、まず保存的に圧迫眼帯をして炭酸脱水素酵素阻害薬を投与し比較安静を行います。それでも前房再生傾向のない場合及び前房が消失した場合は強膜弁縫合を行います。

○脈絡膜剥離

濾過過剰の場合に生じ、高度の場合は炭酸脱水素阻害薬およびステロイド薬の内服を行います。改善傾向がみられない大きなものは脈絡膜下液の排液を行います。

○低眼圧黄斑症

術後5mmHg以下になると発症率が上昇します。黄斑症が消失した後にも視力低下が残存することがあります。

(晩期合併症)

○濾過胞からの漏出

マイトマイシンCを使用すると濾過胞が癒着せず、眼圧下降効果が長期にわたって維持されやすい一方、濾過胞が菲薄化し漏出が生じる危険があります。感染の危険がある場合は、下方結膜の遊離弁移植もしくは濾過胞内自家血注入を行います。

○感染症

マイトマイシンCを併用した場合の最も重篤な合併症は、濾過胞からの晩期感染です。2%に生じます。感染症が濾過胞内に限局する場合は抗生物質の投与を行います。硝子体腔内に及んだ場合は、硝子体手術を行います。

○濾過胞再癒着

濾過胞再癒着が生じると、眼圧が上昇してきます。薬物治療にて十分な眼圧下降が得られない場合は、再手術となります。

5. 偶発症発症時の対応

症状に応じ適宜、適切な対応を行います（上記各項目に記載した通りです）。

6. 代替可能な検査・手術・治療およびそれに伴う危険性

○濾過胞再建術を行わない場合は、薬物治療を継続する事が可能です。

緑内障治療ガイドラインにおいては、薬物治療によって十分な眼圧下降が得られない場合は、手術療法が推奨されています。

○マイトマイシンCを使用せずに濾過胞再建術を行うことも可能です。

濾過胞の癒着が強い為、マイトマイシンCを使用しないと濾過胞が再癒着し術後早期に眼圧が上昇してくる可能性が高くなります。

7. この検査・手術・治療を行わなかった場合に予測される経過

眼圧が下がらないため、緑内障の視野障害の進行が考えられます。病期が進行すると失明する可能性があります。

8. 費用について

日本眼科学会による緑内障診療ガイドラインでは、緑内障手術の際に、濾過部位の癒着抑制目的に代謝拮抗薬であるマイトマイシンCの使用と有効性を明記しています。線維柱帯切除術と濾過胞再建術は保険適応の術式ですが、マイトマイシンCの使用に関しては学会として保険適応を申請中です。大和市立病院の倫理委員会においても審議され、治療の承認を得ています。倫理委員会 承認番号 30-2

マイトマイシンCは病院負担とさせていただくため、通常の濾過胞再建術の費用と同様です。

9. 問合せ窓口

大和市立病院 眼科外来 電話 046-260-0111

大和市立病院長殿

上記説明を受け、質問する機会を得、内容を理解したうえで次の選択をします。

代理人は、患者の利益を代表します。

【同意しません】	【同意します】
ご署名 (本人・代理人)	ご署名 (本人・代理人)
20 年 月 日	20 年 月 日

代理人の患者との関係・続柄 _____

同意した後であっても、実施前であれば取り消すことができます。